「調査書」作成上の注意（担任作成）

１　記入上の全般的注意

（１）令和８年１２月１日までの事項を記入する。
（２）ボールペン（黒）を使用して記入、または様式を本校ホームページからダウンロードして記入する。
（３）誤記を訂正する場合は、インク消し・消しゴム等は使用せず、二重線で訂正し、記載者が訂正印を押す。
（４）数字は、すべて算用数字を用いる。
（５）性別は、該当する一方の文字を〇で囲む。
（６）住所欄には住民票のとおり、県名から住所を記入する。
（７）「特別支援学級種別」は、「知的」、「自閉症・情緒」等と記入する。特別支援学校(知的障害)中学部在籍生徒については、斜線を記入する。
（８）卒業見込み・卒業は、該当する方の文字を〇で囲む。
（９）※欄は、記入しない。

２　各欄記入上の注意

（１）「障害・疾病等」の欄について
障害名は医学的専門的診断に基づき記入し、疾病がある場合は記入する。
また、身体の状況について指導上参考となる内容がある場合もその内容を記入する。
例）知的障害　肢体不自由　自閉スペクトラム症　てんかん　・・・

（２）学習の記録について
①「学習の記録」欄は、第３学年の学習の状況について記入する。
②「教科等」欄は、各教科、各教科等を合わせた指導、自立活動、特別活動、総合的な学習の時間について記入する。なお、「教科等」の区切りについては、記入内容に応じて「学習の状況」欄の線に合わせて適宜、区切ること。

例）

学習の記録	教科等	学　習　の　状　況
	国語	
	数学	
	作業	
	自立活動	
	総合的な学習の時間	

【裏面に続く】

③学習の状況は、学習内容及び生徒の学力の程度がわかるように具体的に記入する。

（3）「発達の様子」の欄について

生徒の発達の状況がわかるように、以下の①～⑤に基づき具体的に記入する。

①基本的生活習慣：身辺処理（衣服の着脱、排せつ、食事）等について

②運　動　能　力：移動能力、体力、敏しょう性等について

③手　指　機　能：手・指の粗大運動、微細運動、巧緻性等について

④言　語　理　解：指示理解、会話能力等について

⑤社　　会　　性：対人関係、集団参加、自己統制、社会参加等について

（4）「現在の状況」の欄について

性格や行動の特徴、健康面での配慮、家庭の教育によせる関心等について具体的に記述する。

（5）「出欠の記録」

①すべて算用数字を用いて記入する。

②欠席日数に関わらず、すべての欠席理由を明記する。

（6）「その他の特記事項」の欄について

①「就学中の転（編）入学」について、中学校在学中に、特別支援学級に入級した場合についても年月日と合わせてその旨を記入する。ただし、第１学年の入学時に特別支援学級入級の場合は、記入の必要はない。

②進路に関する特記事項があれば記入する。

③その他該当する事項があれば記入する。 ない場合は、それぞれについて「特になし」と記入する。

（注）必ず両面印刷で提出してください。